

栃木県市貝町

取組主体: 続谷営農組合

取組開始時期: 平成24年12月

解消面積: 84a(平成25年12月時点)

導入作物: メロン・露地野菜

1. 取組のきっかけ・経緯

主要地方道宇都宮・茂木線(芳賀・市貝バイパス)開通に伴い、当時、平成26年4月にオープン予定の道の駅「サシバの里いちかい」の道向かいが耕作放棄地であったため、景観上の問題から解消に向けて早急な取組が必要となった。農業委員が土地の所有者と借り手の間に入って利用権を結び、解消作業に取り組むこととした。

2. 取組内容

対象農地はススキや灌木が生い茂り、解消作業には相当の労力を必要とした。そこでチェーンソーやトラクタに作業機を取り付けなどして、伐採、抜根、粉碎、耕起などの作業を精力的に行った。

また、土地が痩せているため、大量の堆肥を投入するなど土壌改良も同時に行い農地を再生した。1年目は麦を作付けするなど地力回復に努めた。水の確保が問題だったが、芳賀台土地改良区で配管したパイプラインから分水し、芳賀台の水を利用することとした。

3. 今後の課題・予定など

パイプハウス栽培によるメロンや露地野菜を効率よく作付けし、年間を通して道の駅直売所をうまく活用し販売していく。

また、里山農業体験を随時開催するなど、道の駅「サシバの里いちかい」を核とした地域との交流を図っていく。

4. 活用した補助事業

(国) 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容: 再生作業費(伐採、抜根等)、農業用施設整備パイプハウス整備等)



再生前



再生後